

# 通学道路・生活道路が危険では困ります 東京都にお任せではいつになるかわかりません

羽村堰歩道橋から寺坂へ抜ける道路については具体的計画が無い。具体化すべきでは？

この道路については過去に何人もの議員が道路拡幅の一般質問を行っており市もすでに承知をしていると思います。特に通学路になっており緊急性があります。

羽村大橋東詰交差点も通学、通勤に危険であるということからすでに改修工事が終了している。その交差点を結んでいる道路なので一日でも早い拡幅が望まれます。

この道路の片側は公園となっており市の予算で拡幅は可能であると思っています。



市は東京都の責任で実施すべきとしていますが、東京都は、「この道路が具体化されるのはまだ先のこと」としています。東京都が現在実施したいとしている拡幅道路は、羽加美3丁目の間坂街道と奥多摩街道が交差する道路で、すでに関係住民への説明会も開かれています。従って、東京都の動きをただ待つだけでは、いつになるのか全くわからないということです。

市長答弁 この道路は現在市道第7078号線として市が認定し維持管理を行っている。昭和36年に都市計画道路3・4・13号線としてとし計画決定されており、幅3・5㍍の歩道を両側に設け道路幅員16㍍の道路として整備する計画となっています。将来的には東京都が都市計画道路として整備していくこととなりますがねご質問にありますように、通学路に指定され歩行者等の利用も多いことからこれまで市では歩行者の通行帯を示す区画線の設置やカラー舗装等による安全対策を実施してきました。都市計画道路として整備されるまでの間は市道として児童等の交通の安全を確保していく責務がありますので早々にスクールゾーンの指定や時間制限による車両規制等の具体策について福生警察署と協議していきたい。なお、計画されている都市計画道路につきましては引き続きその実現に向けた取り組みを実施するよう東京都に対して要請していきます。

東京都水道局羽村取水所前の奥多摩街道は、歩道がなく大変危険との声がある。現在の状況を伺う。

この道路の回りは、市の観光コースや花と水のまつりまた、各種団体の散策コースとしても位置づけられており、そのため市内住民だけでなく市外からのお客さんも多く訪れます。市として東京都と相談しながら、市でできることがないか等もう少し積極的な動きをすべきではと思います。

市長答弁 この場所については歩道がなく危険なことから道路拡幅を東京都に要請しています。東京都では平成17年に地形測量を実施し道路拡幅について検討した結果、玉川

上水が国の史跡であることから、住宅側の道路を大幅に広げなければならないことや、道路の線形の関係から部分的な拡幅では難しいことなどにより大規模な用地買収が伴う等課題が多いとの見解でした。しかし、市としても課題があると認識していますので今後も東京都に対し課題解決にむけて検討していただくよう、市民要望を踏まえ強く要請していきたいと考えています。

